

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社南日本銀行（証券コード:8554）

【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	BBB 安定的
-------------------	------------

■格付事由

- 鹿兒島県を主要営業地盤とする資金量約7,800億円の第二地方銀行。22年9月に公的資金を完済した。中小規模事業者向け専門の金融機関としてのビジネスモデル構築を標榜しており、県内では約1割の貸出金シェアを確保している。格付は、収益性が格付対比や高い水準にある一方、貸出資産の質や資本の充実度に改善の余地があることなどを反映している。今後は、地元中小規模事業者への本業支援体制を強化し、安定的な収益基盤を確保することで持続的に内部留保を積み上げ、コア資本比率の改善につなげられるかが格付上のポイントである。
- 当行のROA（コア業務純益ベース）は0.3%台と、BBBレンジの中で比較的良好な水準にある。コア業務純益（投資信託の解約損益を除く）は20/3期をボトムに回復し、23/3期は27億円を確保している。もっとも、貸出金利回りの低下による収益の減少を、システムコストを主とした経費の減少や、役員取引等費用の減少などで補っている形である。今後、人件費・物件費の増加が利益の下押し要因となり、コア業務純益が弱含む可能性がある。一方、中小規模事業者向けの貸出残高は増加基調にある。人材育成による本業支援や事業再生の提供能力の強化を進めており、今後も地元企業の資金ニーズをこまめに捉え、コロナ関連融資の返済が進む中でも貸出金の残高増加と利回り低下の抑制を両立することなどで収益力を維持できるか注目していく。
- 近年の与信費用は、コア業務純益でカバーできる水準にとどまっている。ただし、23/3期末の金融再生法開示債権比率は5.21%（部分直接償却は実施していない）、総与信に占める分類債権額の割合は2割超と高い。その他要注意先以下に未保全額が大きな先が少なくなく、景気停滞時に業績が悪化しやすいとみられる貸出ポートフォリオの特性を踏まえると、引き続き与信費用の動向に留意する必要がある。有価証券運用においては総資産対比で残高が少なく、保有債券にかかる金利リスク量は資本対比で抑制された水準にあり、株式や投資信託にかかる価格変動のリスク量もさほど多くない。引き続き、有価証券運用にかかるリスクとリターンのバランスに注目していく。
- 23年3月末の連結コア資本比率は8.07%と、公的資金の返済により前期比で低下した。しかし、公的資金や優先株の資本性などを調整したコア資本比率の水準は改善しており、格付「BBB」レンジの地銀と比較した際の見劣り度合いは薄まっている。与信費用控除後の収益力を維持し、今後もコア資本比率を改善していくかに注目していく。

（担当） 阪口 健吾・阿知波 聖人

■格付対象

発行体：株式会社南日本銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年7月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：阪口 健吾
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社南日本銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル